

## 2. 被害者等が求める支援

被害者等が求める支援内容としては、以下のようなものがあげられます。しかし、このような支援について、全て自助グループにおいて対応することはできません。自助グループを設立・運営する際には、そのグループがどのような支援を目的に運営するのか、明確にしておく必要があります。

### (1) 被害者等が希望している支援内容

#### 精神的支援について

- ・すべての感情をそのまま受け止めて支持してもらえること
- ・事件について何回でも話をすることができること
- ・同じような立場にある被害者等と一緒にいられる場があること
- ・同じような立場にある被害者等を紹介してもらえること
- ・自助グループに参加できること
- ・専門家による精神的支援が受けられること 等

#### 付き添いや手伝い等の支援について

- ・警察、検察、裁判所、病院などへの付き添い
- ・家事や育児の援助
- ・葬儀等の手伝い
- ・書類作成の手伝いや代行
- ・行政手続きに対する援助
- ・マスコミ対策 等

#### 情報的支援について

- ・捜査状況の情報
- ・刑事司法に関する情報
- ・損害賠償請求に関する情報
- ・支援者や支援組織の情報・紹介
- ・加害者に関する情報 等

#### 経済的支援について

- ・仕事が続けられるよう、職場への理解の推進や休暇が取れる制度
- ・加害者から損害賠償を得ることができる制度 等

## (2) 被害を受けてからの経過年数と支援内容の変化

被害者等は、被害を受けてからの年数の経過とともに、求める支援内容にも変化が出てきます。以下は、被害者等が求める支援の内容について、経過年数別に記載しています。

### ① 被害直後

被害直後には、被害者等は、日常生活全般にわたる支援や捜査、司法に関する情報提供、精神的支援など多くの支援を必要としています。被害直後では、被害者等は、自助グループに参加できる状況にはないケースもありますので、無理に参加を要請せず、支援に関する関係機関等の情報提供や、関係機関への付き添い等の支援が期待されています。

### ② 被害後1年くらい経過した頃

被害後1年くらい経過した頃から、被害者等は、同じような状況にある被害者等と話をしたいと考えるようになり、仲間を求める人も増えてきます。このようなときに、安心して感情を吐露でき、情報も得ることができる自助グループが、被害からの回復のためには、有効と考えられます。